

2026年
8月発行

恵庭市教育委員会社会教育課

えにわ コミスクだより Vol.4



恵庭市では、子どもたちを中心に地域と学校が協働して行い、子どもたちの成長を支える「地域学校協働活動(コミスク活動)」を推進しています。Vol.4では4月16日に開催した「地域コーディネーター活動報告会」の様子や和光小学校・若草小学校の取り組みについて紹介します。

※コミスクについての説明は、Vol.1をご覧ください。

新しい地域学校活動推進員（地域コーディネーター）をご紹介します！

恵庭市では、地域と学校をつなぐ市の施策として、令和6年度から「地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)」の配置を進めています。令和6年度に1名、令和7年度に5名を配置し、令和8年度から新たに和光小学校にも地域コーディネーターを配置しました。地域コーディネーターは、“地域と学校をつなぐ存在”“地域と学校の対話のきっかけをつくる存在”となり、学校と地域の連携をサポートします。



和光小学校
高辺 和也さん

今までつながって
なかった人や団体と
つながりながら、子
どもたちの豊かな学
びと地域活性化を目
指していきたいです。

地域コーディネーターが 互いの活動報告を共有しました

地域コーディネーターと教育委員会事務局が集まり、各コーディネーターの活動報告を行いました。共通する課題や地域の特性に応じた取り組み成果を共有し、互いに助言し合うなど活発に意見を交換しました。



今後も活動報告会を開催して
取り組みを推進していきます



配置校

地域コーディネーター

恵庭小学校

久保 純一 さん

島松小学校

中山 舞 さん

柏小学校

押見 麻衣 さん

若草小・柏陽中

茶園 利紀 さん

恵み野小学校

三浦 真吾 さん

恵み野旭小・恵み野中

平井 梓 さん

和光小学校

高辺 和也 さん

地域コーディネーターの活動報告（一部抜粋）

<活動を通じて感じた学校・子ども・地域の変化>

- ・以前よりも学校との連携が取りやすくなった
- ・顔を覚えてくれる子どもたちが増えた
- ・児童のふるさとへの心を育むことができた
- ・子どもたちが活動を楽しみにしてくれていた
- ・地域からの支援があり、助かっている

<現在感じている課題>

- ・C Sメンバーが足りない、高齢化が進んでいる
- ・町内会が多く、情報の共有が難しい
- ・継続的な連携ができるようにしたい
- ・参加する児童に偏りがある
- ・会場となる場所や予算の確保が厳しい

恵庭市内のコミスク活動を紹介します



防災

和光小学校

・引き渡し訓練

【活動日時】 R8.6.10(水)

【活動場所】 和光小学校

【実施主体】 和光小学校、町内会役員、PTA、CS委員

和光小学校では令和6年より、災害時を想定して児童を安全に保護者へ引き渡す訓練を実施しています。CS委員や町内会を中心とした地域住民が誘導や警備を支援しています。

いざというときに落ち着いて対応できるよう、学校・地域・保護者が連携して取り組んでいます。

ほかにはこんな取組も！



和光小児童と町内会が協力して、公園の手形看板を作成しました。今後は、数年おきにデザインを変更して制作していく予定です。



駐車場整備



交通整理

防災

柏陽中学校

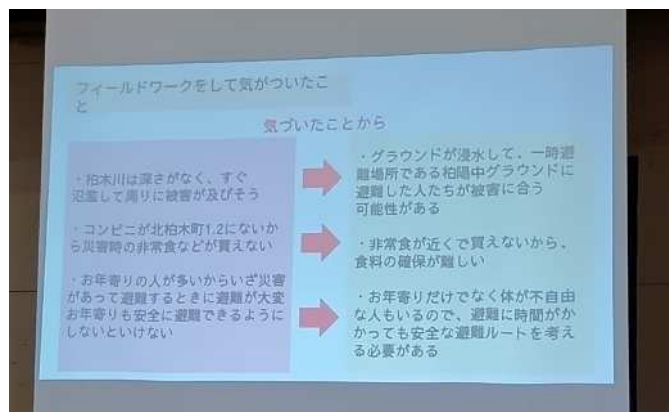
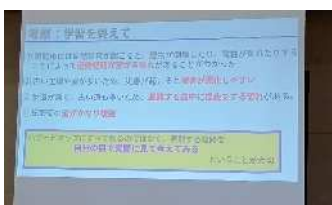
・防災学習

【実施日時】 R8.7.23(木)

【実施場所】 柏陽中学校

【実施主体】 柏陽中学校、CS委員

柏陽中学校では、3年生が災害時の状況を予想しながら、学校周辺の危険な箇所を歩いて確認する防災学習を実施しました。グループごとに学習内容をまとめ、最後にはCS委員や町内会などの地域住民に向けて体育館でスライド発表を行いました。学校だけでなく、地域全体で課題を共有し、防災意識を高める機会となっています。

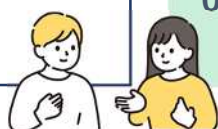


防災学習 報告書



ご相談お待ちしております！

「子どもたちのために地域でこんな取組をしたい」というご相談や、「コミスク活動の写真」などの提供もお待ちしております



◆問合せ先◆

恵庭市教育委員会 社会教育課
0123-33-3131 内線1711・1712

ホームページは
こちらから↓

